

令和7(2025)年度の労働相談状況について

令和8(2026)年9月1日
栃木県産業労働観光部労働政策課

県では、労働者及び使用者からの労働条件や職場における人間関係など労働問題全般にわたる幅広い相談に応じています。

令和7(2025)年度の労働相談状況を取りまとめた結果は以下のとおりです。

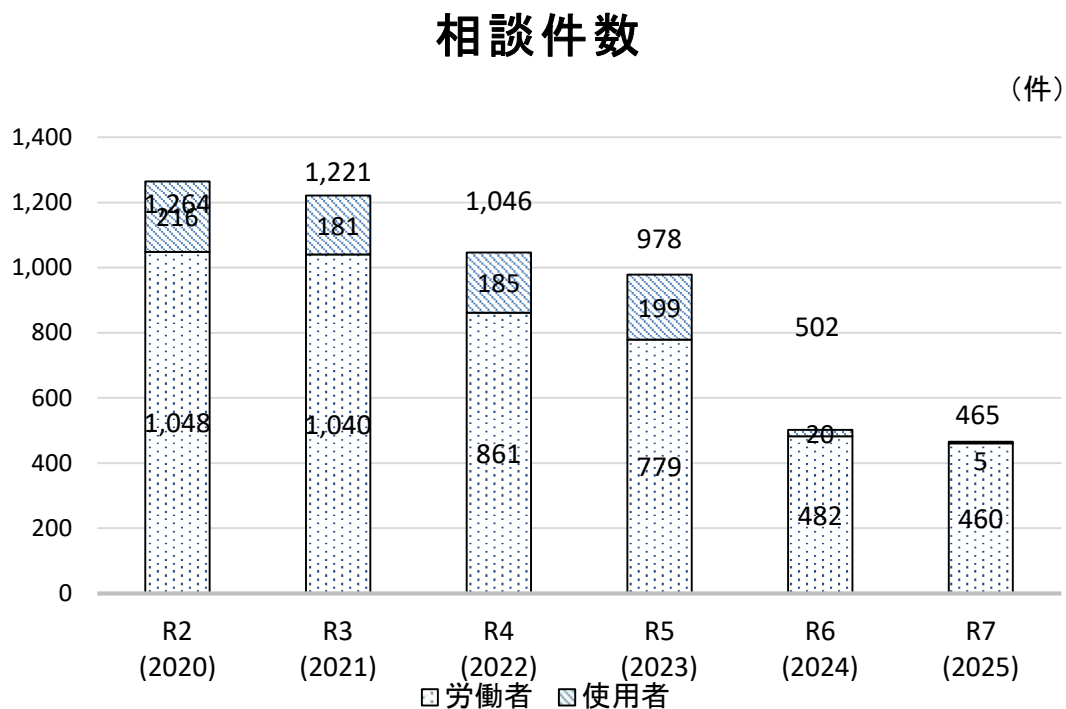
1 労働相談件数

令和7(2025)年度の労働相談件数は465件で、前年度と比べると37件(▲7.4%)の減であった。

図－1 (件)

年度 労使別	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
労働者	1048	1040	861	779	482	460
(構成比)	82.9%	85.2%	82.3%	79.7%	96.0%	98.9%
(対前年度比)	133.2%	99.2%	82.8%	90.5%	61.9%	95.4%
使用者	216	181	185	199	20	5
(構成比)	17.1%	14.8%	17.7%	20.3%	4.0%	1.1%
(対前年度比)	107.5%	83.8%	102.2%	107.6%	10.1%	25.0%
計	1,264	1,221	1,046	978	502	465
(対前年度比)	127.9%	96.6%	85.7%	93.5%	51.3%	92.6%

図－2

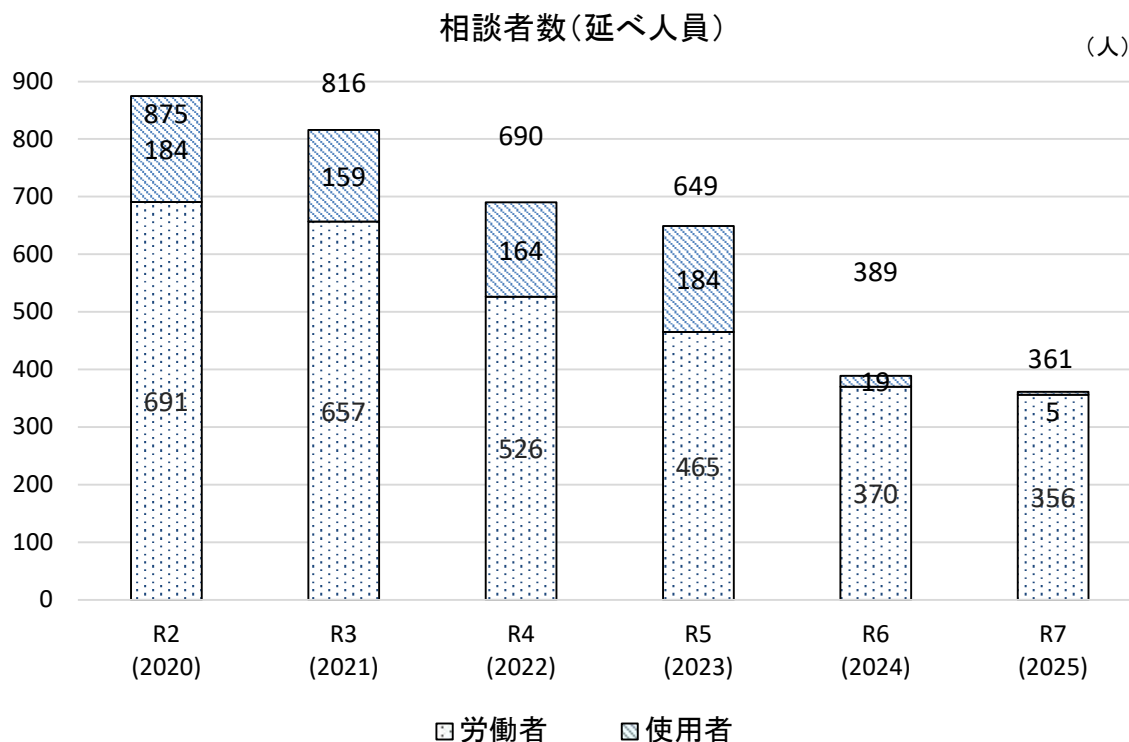


2 労働相談者数

令和7(2025)年度の労働相談者数は361人と、前年度の389人に対して28人(▲7.2%)の減となった。そのうち、労働者からの相談が356人で、前年度の370人に対して14人(▲3.8%)の減であった。

使用者からの相談は5人で、前年度の19人に対して14人(▲73.6%)の減であった。

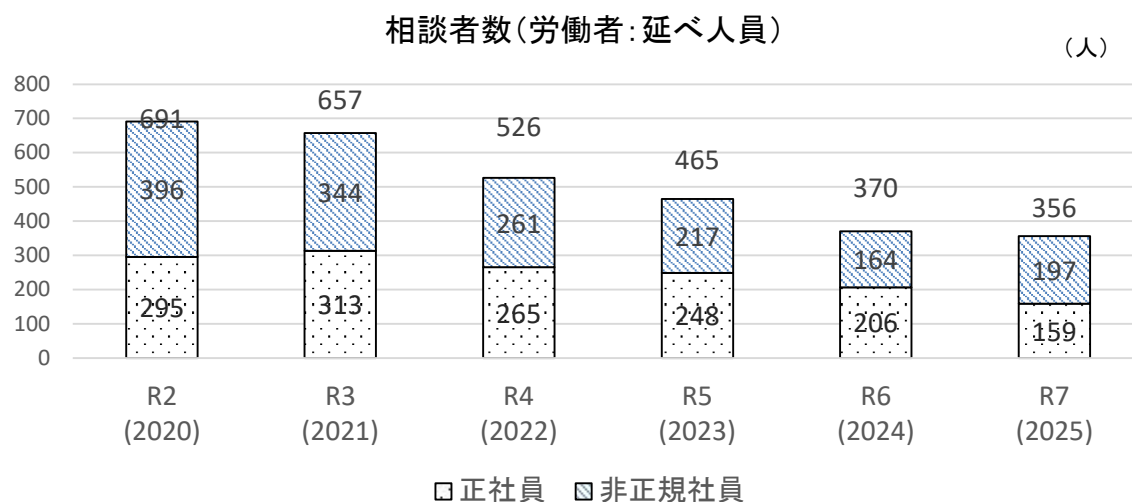
図－3



令和7(2025)年度の労働者からの相談のうち、正社員からの相談は159人であり、前年度の206人に対して47人(▲22.8%)減少した。

一方、非正規社員からの相談は、197人であり、前年度の164人に対して33人(20.1%)増加した。

図－4

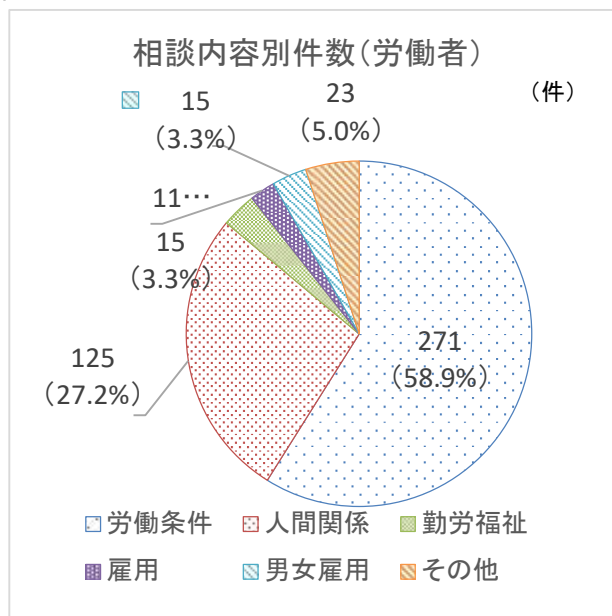


3 相談内容別件数(労働者)

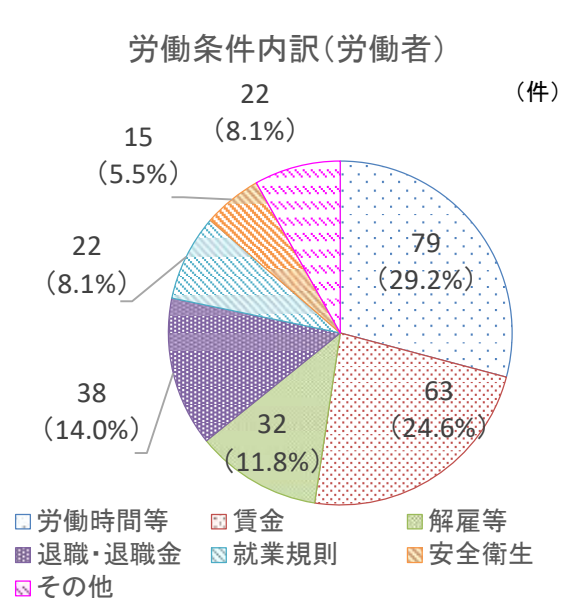
労働者からの相談(460件)は、「労働条件」に関することが58.9%と最も多く、次いで、パワハラ・いじめなどの「人間関係」となった。

「労働条件」の内訳では、「労働時間等」が29.2%と最も多く、次いで、「賃金」、「退職・退職金」、「解雇等」の順であった。

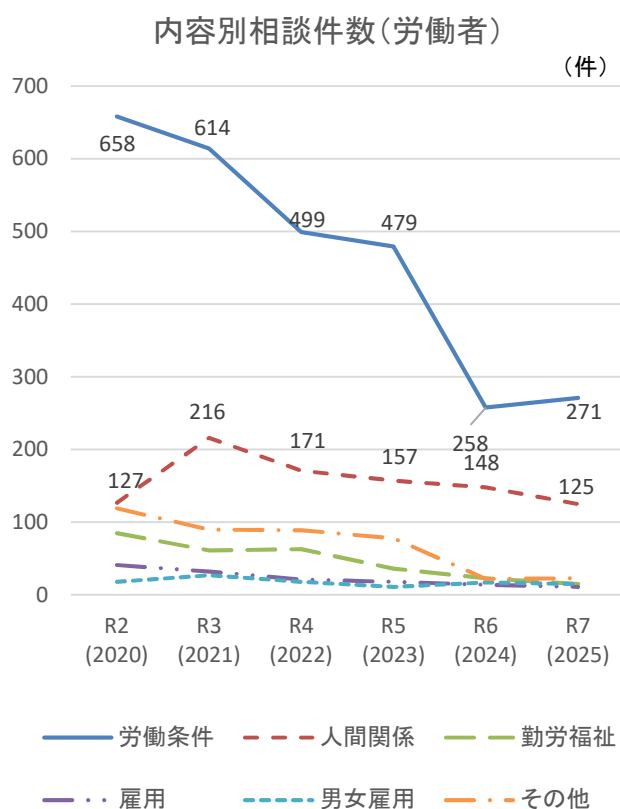
図－5



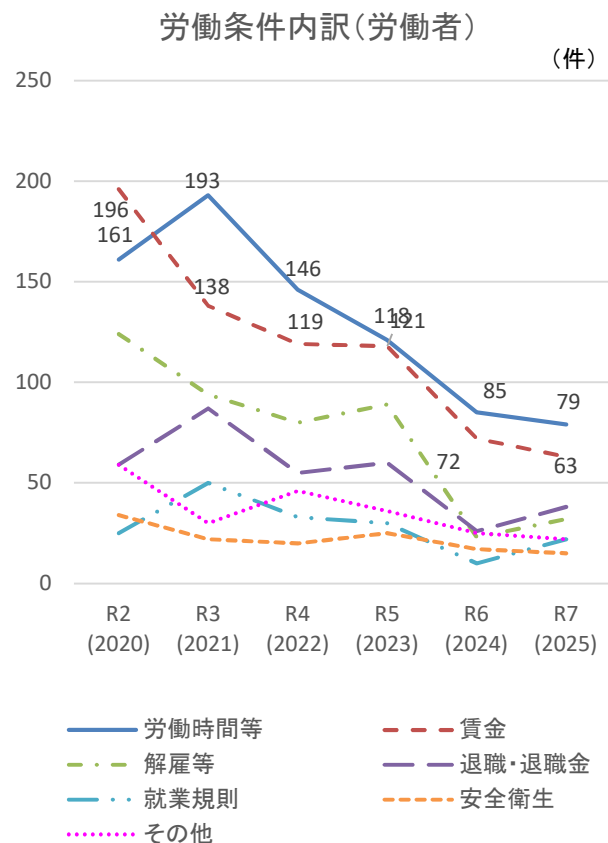
図－6



図－7



図－8



4 相談内容別件数(使用者)

使用者からの相談(5件)は、「労働条件」が2件、「人間関係」が2件、「その他」が1件であった。「労働条件」の内訳では、「解雇等」の相談が2件であった。

図-9

内容別相談件数(使用者)

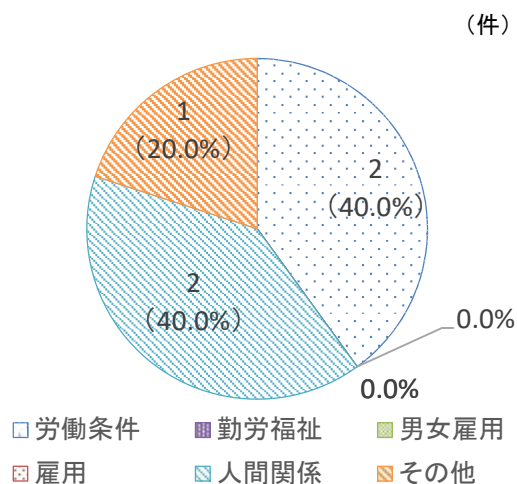


図-10

労働条件の内訳(使用者)

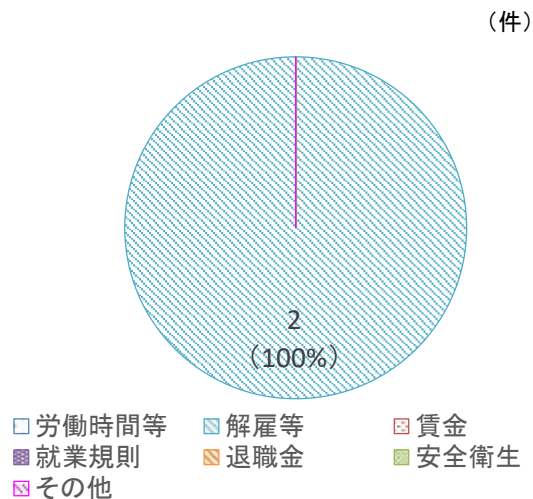


図-11

内容別相談件数(使用者)

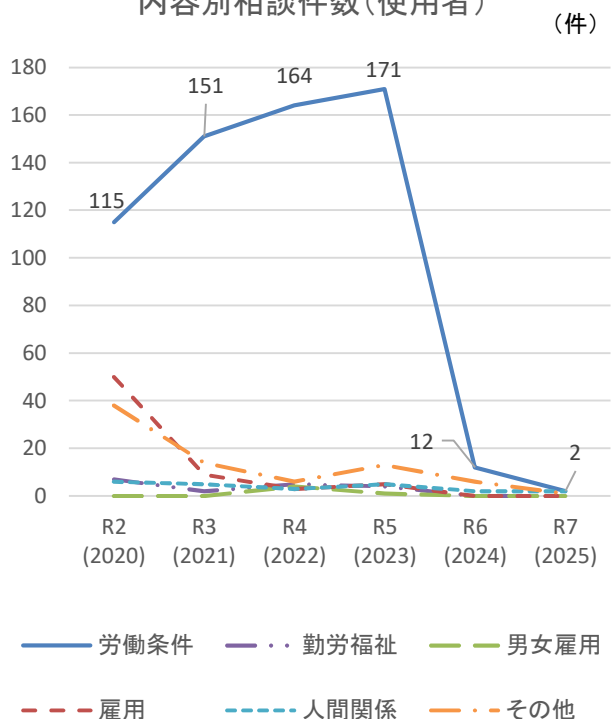


図-12

労働条件内訳(使用者)

